

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名（生年月日） 荒谷 眞由美 （****年**月**日）
本籍（外国人の場合国籍） （都道府県） ****
学位（専攻分野） 博士（医療情報学）
学位授与番号 乙第 42 号
学位授与日付 令和4年3月21日
学位授与の要件 学位規程第3条第4項該当

論文題目

後期高齢者医療費の地域差に関する研究-医療福祉サービスの提供と財政負担の視点から-

審査委員会

主査 阿南 誠 副査 片岡 浩巳 副査 秋山 祐治

博士論文内容の要旨

本論文は、2025年問題として我が国の医療政策の大きな課題となっている後期高齢者医療費問題をサービス提供と財政負担の視点から現状とそれによる地域差の発生要因を明らかにするものである。加えて地方自治体の取り組みが二次医療圏における医療にどのような影響を与えているかその成果とともに課題を明らかにしたものである。後期高齢者医療の問題は今後も加速する我が国の高齢者対策の中核になるものであり本論文で明らかにされた課題と未来への提言は大変に意義あるものである。

博士論文審査結果の要旨

1月24日、12時45分から以下のとおり口頭試問による論文審査、英語能力の審査を行った。

本論文は、当該執筆者の長年に渡る医療政策、医療費問題にかかる集大成として作成されたものである。新たな視点は、国民皆保険制度に基づき、一律である高齢者医療制度が実施されているというものの、その実態は地域差があるとし、二次医療圏データにおける分析が適切なものか否かを視野に分析をしたことがある。最終的には介護サービスも含めて将来を見据えた提案をすることにある。本論文のそのものについて、研究手法やその内容は予備審査以降、さらにブラッシュアップが図れており、博士論文として評価基準に則り相応しいものであると認めた。審査については、審査委員の口頭試問において、適切に回答や意見が述べられており、十分な知識と理解があることが認められた。英語能力については、関連した英語文献を15分間黙読させ、その内容についての質疑応答を行い評価した。適切に回答し、英語力も十分に認められた。